

ネットモニター調査結果 - '24年7月期 -

ご協力いただいたモニター数：244社
調査期間：2024年8月1日～9日

《7月の景況判断に関する要点》 (図A、図B、図C)

業況：上向き
見通し：横ばい

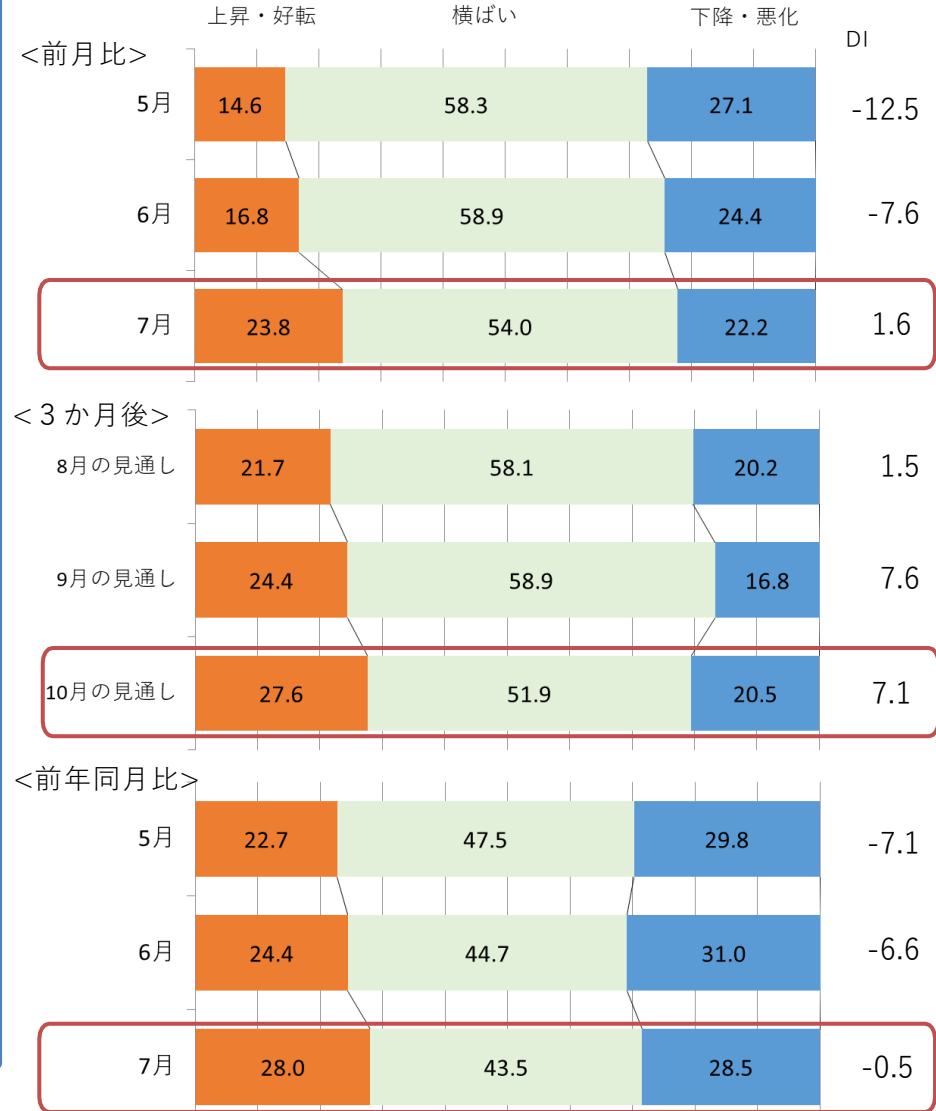
- 7月の景況（前月比）**をみると、「上昇・好転」の割合が7.0ポイント上昇して23.8%、「下降・悪化」は2.2ポイント下降して22.2%となり、**DIは9.2ポイント上昇して1.6**となった。

業種別DIは、製造業で7.5ポイント上昇して5.1、非製造業で11.0ポイント上昇して-0.7となった。
- <上昇・好転要因>**は、「内需が増大したから」が50.9%と突出して高く、続いて「時期的、季節的な要因で」が38.6%、「他社との競合の状況で」が8.8%となった。
- <下降・悪化要因>**は、「内需が減少したから」が48.1%と最も高く、次いで「時期的、季節的な要因で」が35.2%、「原材料・仕入れ価格などコストが上昇したから」が18.5%と続いた。
- 3ヵ月後（10月）の見通し**は、「上昇・好転」が3.2ポイント上昇して27.6%、「下降・悪化」が3.7ポイント上昇して20.5%となり、**DIは0.5ポイント下降して7.1**となった。
- 7月の前年同月比**は、「上昇・好転」が3.6ポイント上昇して28.0%、「下降・悪化」が2.5ポイント下降して28.5%となり、**DIは6.1ポイント上昇して-0.5**となった。

業種別DIは、製造業で10.9ポイント上昇して5.1、非製造業で2.9ポイント上昇して-4.3となった。

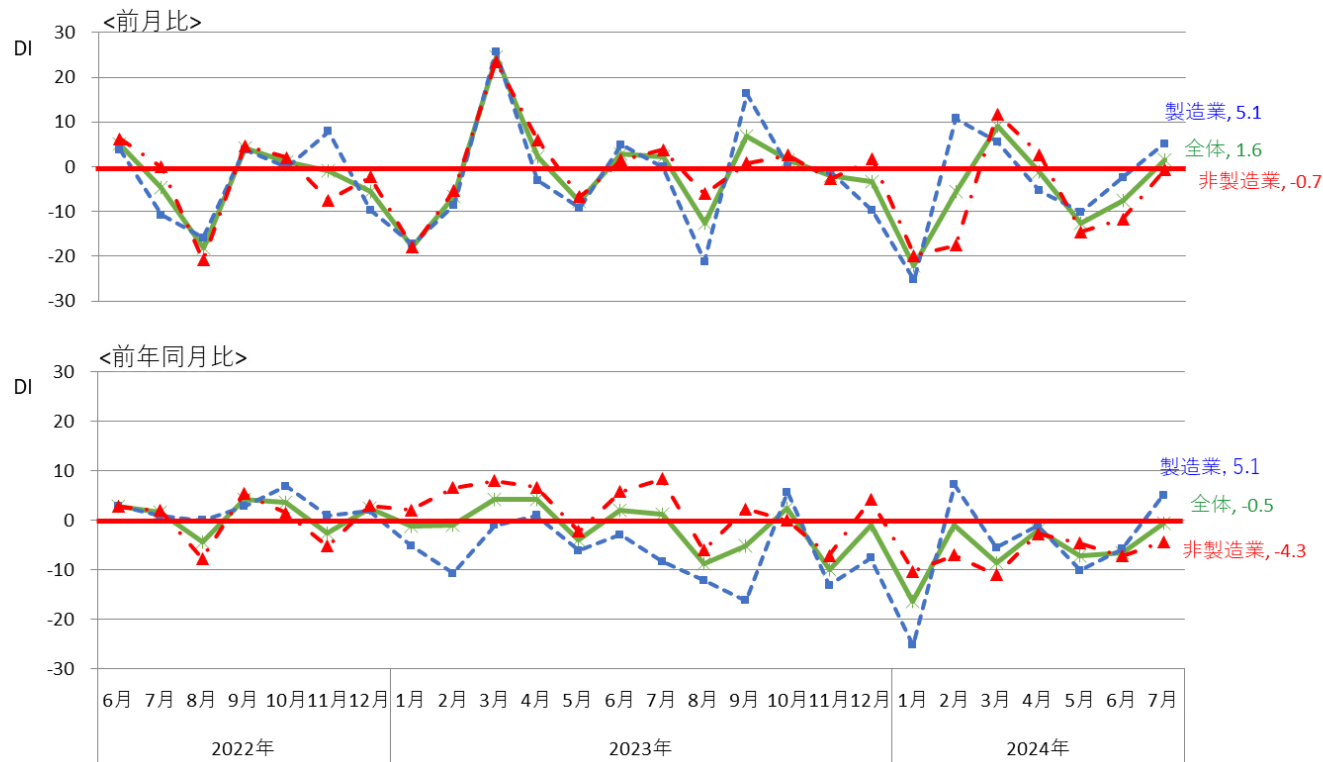
注：ネットモニター調査は、2019年4月から大阪市経済戦略局と（公財）大阪産業局が共同実施しており、両調査の回答を集約のうえ、とりまとめて結果を公表しております。

図 A 景況判断



表示した比率は小数点以下第2位で四捨五入しているため、表示した比率の合計が100.0%にならない場合がある。

図 B 景況DIの推移（業種別）



* DI（Diffusion Index）は、「上昇・好転」の割合から、「下降・悪化」の割合を引いた数字。景気動向を表す指標のひとつ。

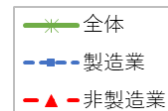
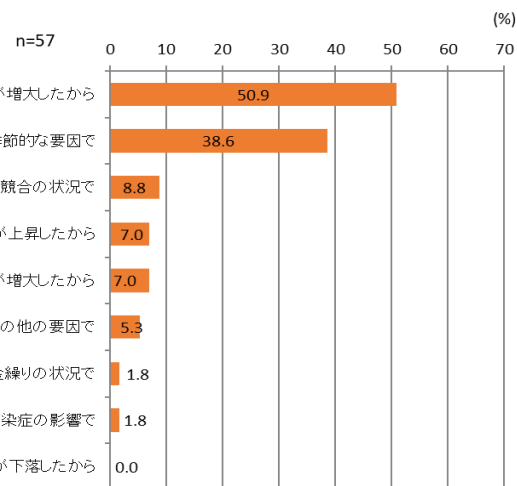
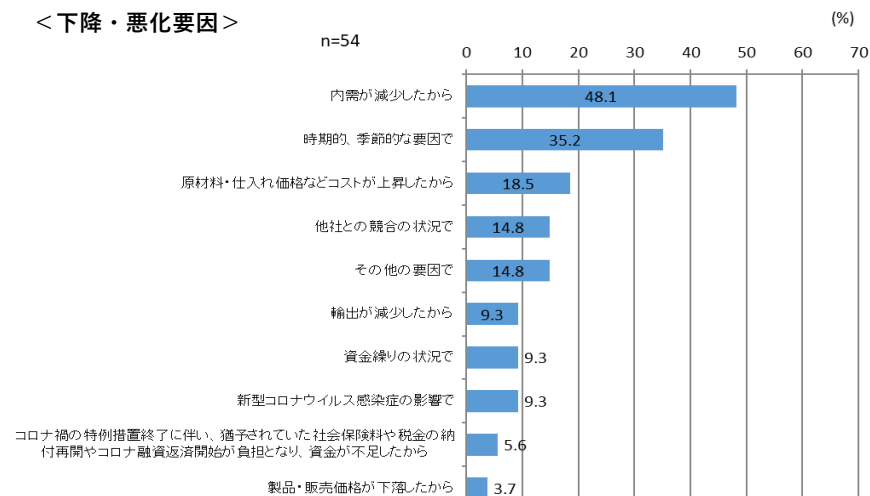


図 C 前月比景況変化の理由

<上昇・好転要因>



<下降・悪化要因>



《資金繰りDIの推移》 図D

<全体>

- 今回(7月)の資金繰りDIは、前回(6月)より2.1ポイント上昇し、16.4となった。

<業種別>

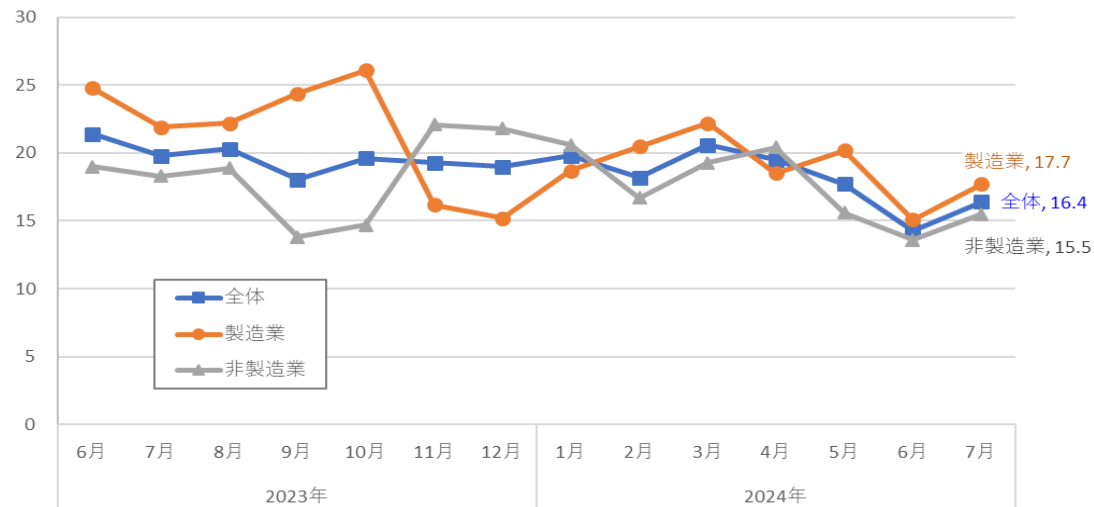
- 製造業では、DIは2.6ポイント上昇して、17.7となった。
- 非製造業では、DIは1.9ポイント上昇して、15.5となった。

<規模別>

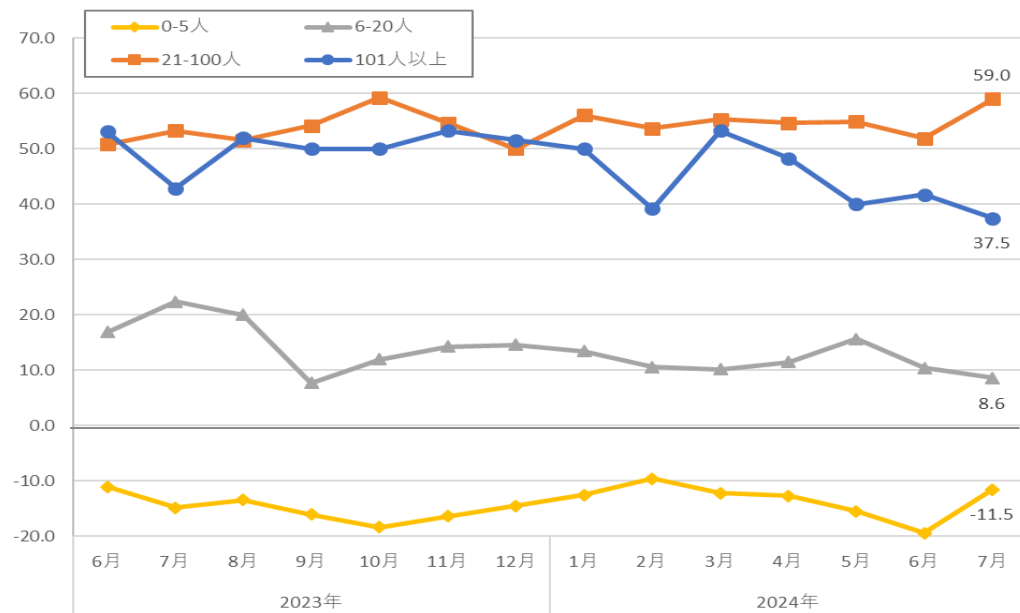
- 0-5人では、DIは7.9ポイント上昇して-11.5となった。
- 6-20人では、DIは1.8ポイント下降して8.6となった。
- 21-100人では、DIは7.1ポイント上昇して59.0となった。
- 101人以上では、DIは4.2ポイント下降して37.5となった。

図D 資金繰りDIの推移

<全体・業種別>



<規模別>



《原材料・仕入・エネルギーの価格上昇や調達難の影響》図E

< 全体 >

- 「マイナスの影響がある」が47.1%、「ややマイナスの影響がある」が34.5%となり、合計すると、81.6%がマイナスの影響があるという結果となった。
- 前月との比較では、マイナスの影響があるという回答は、前月（6月）よりも5.1ポイント下降した。

< 業種別 >

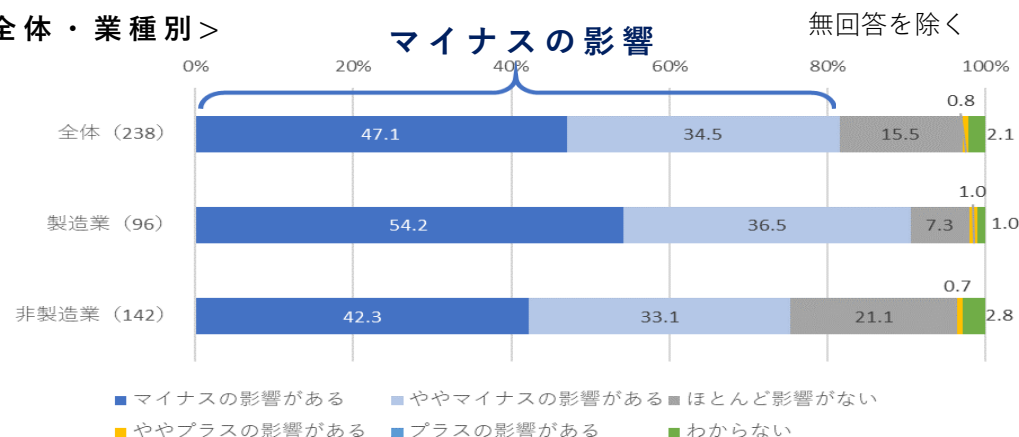
- 製造業では「マイナスの影響がある」が54.2%、「ややマイナスの影響がある」が36.5%となり、合計すると90.7%がマイナスの影響があるという回答結果となった。
- 非製造業では「マイナスの影響がある」が42.3%、「ややマイナスの影響がある」が33.1%で、合計するとマイナスの影響があるのは75.4%となり、製造業よりも低い結果となった。

< 規模別 >

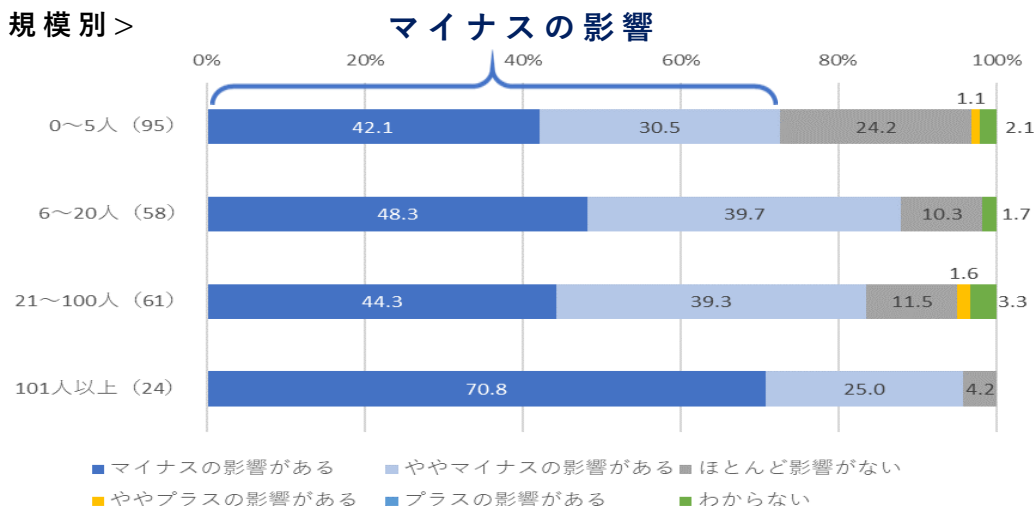
- 「マイナスの影響がある」と「ややマイナスの影響がある」を合計した割合は、101人以上で95.8%と圧倒的に高く、6-20人で88.0%、21-100人で83.6%、0-5人で72.6%という結果となった。

図E 原材料・仕入・エネルギーの価格上昇や調達難の影響

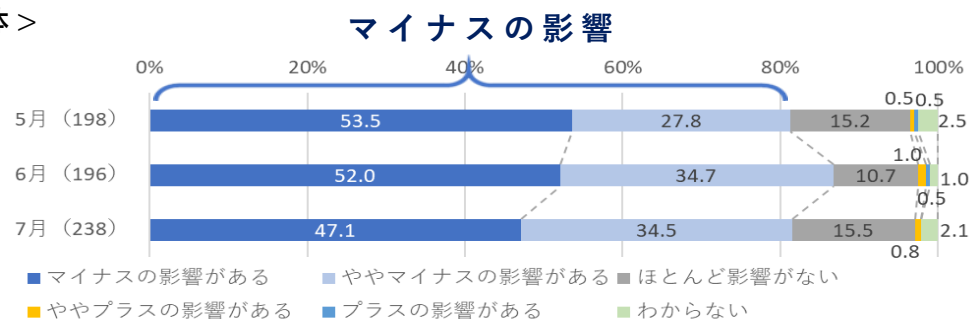
< 全体・業種別 >



< 規模別 >



< 全体 >



《具体的なマイナスの影響の内容》 図F

< 全体 >

- 「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が60.8%と最も高く、続いて「エネルギー（電力・ガス・燃料油など）価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」が58.8%、「粗利益の減少(価格据え置き)」が49.0%、「原材料・商品の調達難による商品価格の値上げ」が23.2%となった。

< 業種別 >

- 製造業では「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が74.7%と多くを占め、「エネルギー価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」が66.7%、「粗利益の減少(価格据え置き)」が55.2%となった。
- 非製造業では「エネルギー価格の上昇等による輸送コス

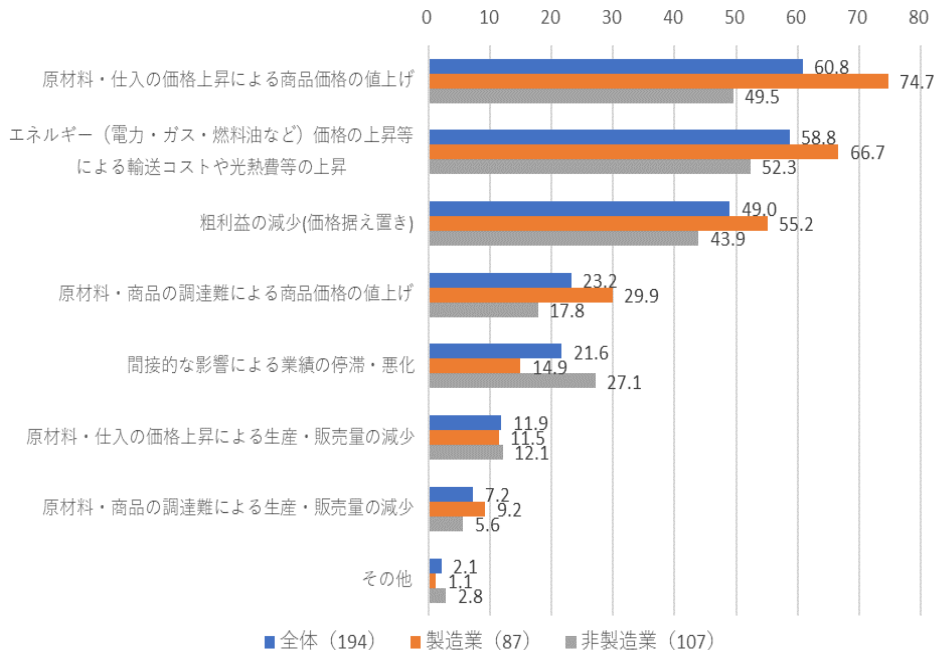
トや光熱費等の上昇」が52.3%と最も高く、次いで「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が49.5%、「粗利益の減少(価格据え置き)」が43.9%となった。

< 規模別 >

- 「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」は、6-20人で68.6%、21-100人で62.7%、101人以上で60.9%、0-5人で53.6%と高い割合を占めた。
- 「エネルギー価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」は、101人以上で82.6%と8割を超え、次いで6-20人で68.6%、21-100人で58.8%、0-5人で43.5%となった。
- 「粗利益の減少(価格据え置き)」は、101人以上で65.2%、6-20人で51.0%、21-100人で49.0%、0-5人で42.0%となった。

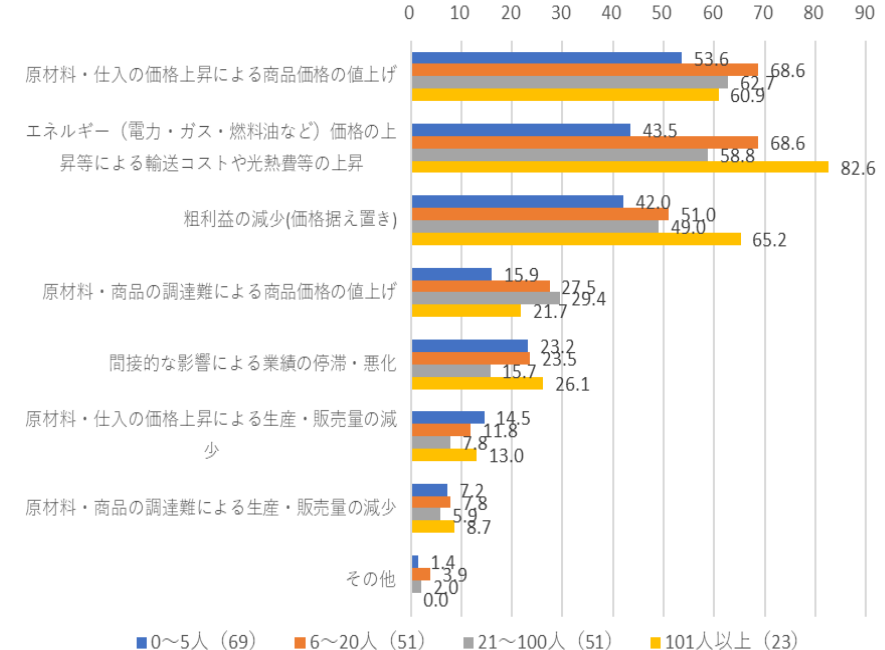
図F 具体的なマイナスの影響の内容

< 全体・業種別 >



図Eで「マイナスの影響がある」、「ややマイナスの影響がある」と回答した人のみの集計

< 規模別 >



《原材料等の価格上昇や調達難への対応》 図G

< 全体 >

- 「販売価格への転嫁」が56.0%と最も高く、次いで、「販売・営業の強化」が30.6%、「生産性の向上」が25.4%となった。

< 業種別 >

- 製造業では「販売価格への転嫁」が78.9%と8割近くとなり、「販売・営業の強化」が36.8%、「仕入先との交渉」が31.6%となった。
- 非製造業では「販売価格への転嫁」が40.1%と最も高

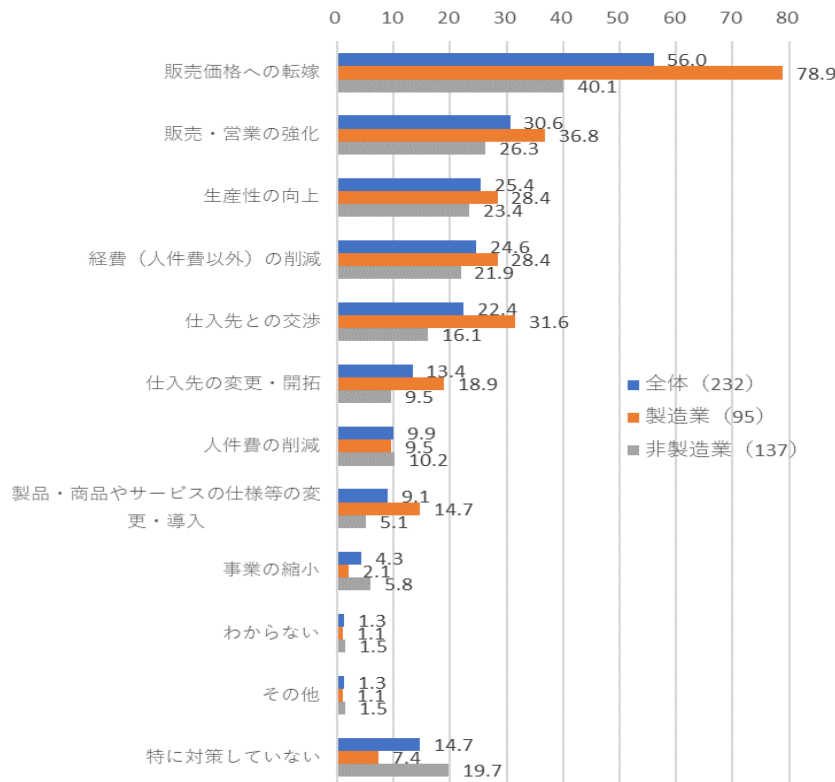
く、「販売・営業の強化」が26.3%、「生産性の向上」が23.4%となった。

< 規模別 >

- 「販売価格への転嫁」は、101人以上で75.0%、21-100人で71.2%と7割を超え、6-20人で63.2%、0-5人で37.0%となり、規模が大きいほど販売価格への転嫁ができています。
- 「経費（人件費以外）の削減」、「仕入先との交渉」、「仕入先の変更・開拓」も規模が大きいほど高い傾向にある。

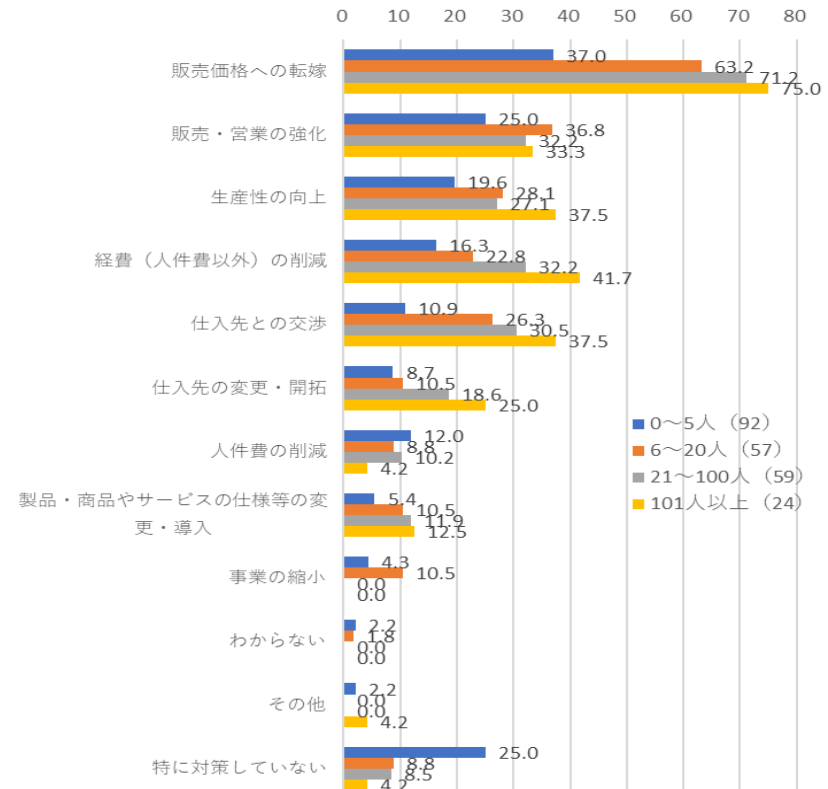
図G 原材料等の価格上昇や調達難への対応

< 全体・業種別 >



図Eで「わからない」と回答した人を除く集計

< 規模別 >



図H 2023年度決算における売上高と24年度見通し（対前年度）

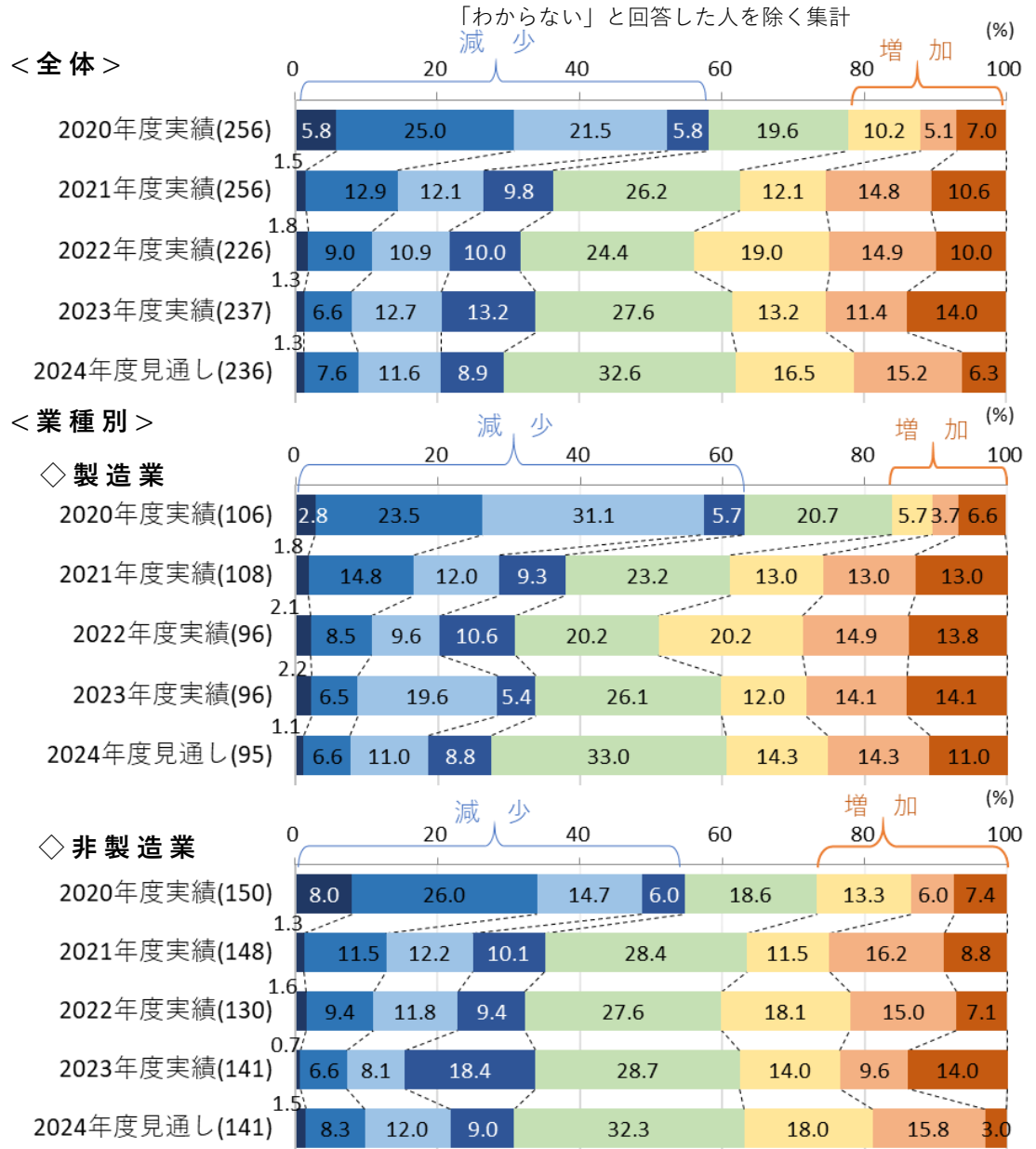
《2023年度決算における売上高と24年度見通し（対前年度）》図H

< 全体 >

- 2023年度実績では、“減少”（「5%以上減」，「10%以上減」，「20%以上減」，「50%以上の減少」の合計）は前年度（2022年度）より2.1ポイント上昇して33.8%となった。一方、“増加”（「20%以上増」，「10%以上増」，「5%以上増」の合計）は5.3ポイント下降して38.6%となり、“増加”が“減少”を上回った。
- 減少率別にみると、「5%以上」が13.2%、「10%以上」が12.7%、「20%以上」が6.6%、「50%以上」が1.3%となった。
- 2024年度見通しは、“増加”は38.0%に下降し、“減少”も29.4%に下降する見通しとなった。

< 業種別 >

- 製造業の2023年度実績をみると、“減少”は2.9ポイント上昇して33.7%、一方、“増加”は8.7ポイント下降して40.2%となった。2024年度見通しについては、“減少”が27.5%、“増加”が39.6%となった。
- 非製造業の2023年度実績をみると、“減少”は1.6ポイント上昇して33.8%、“増加”は2.6ポイント下降して37.6%となった。2024年度見通しは、“減少”は下降して30.8%、“増加”もやや下降して36.8%という見通しとなった。



■ 50%以上 ■ 20%以上 ■ 10%以上 ■ 5%以上 ■ ほぼ同水準 ■ 5%以上 ■ 10%以上 ■ 20%以上

図1 2023年度決算における売上高と24年度見通し(対前年度)(続き)

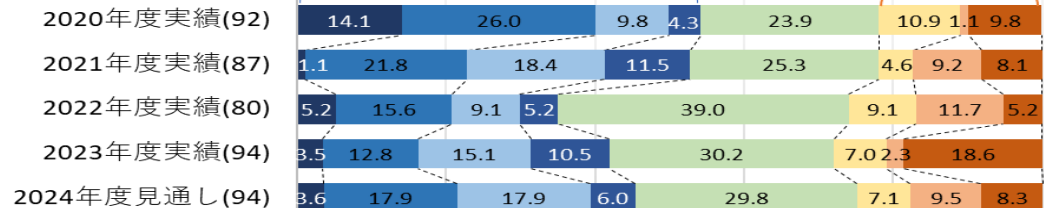
《2023年度決算における売上高と24年度見通し(対前年度)》図

<規模別>

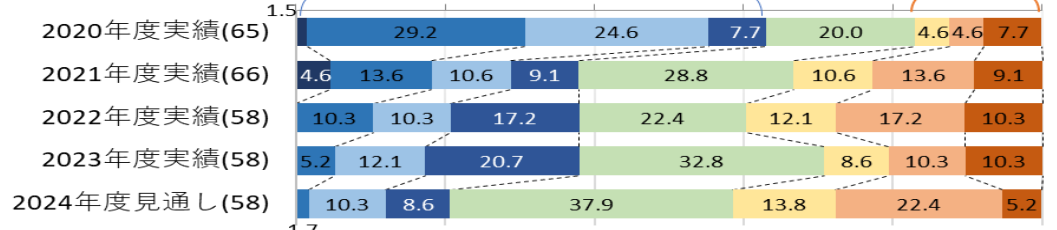
- 0-5人の2023年度実績をみると、“減少”の割合は6.8ポイント上昇して41.9%、“増加”は1.9ポイント上昇して27.9%となった。2024年度見通しをみると、“減少”はさらに上昇して45.4%となり、“増加”は下降して24.9%となる見通しとなった。
- 6-20人の23年度実績は、“減少”は38.0%と同程度で、“増加”は10.4ポイント下降して29.2%となった。24年度見通しは、“減少”は17.4ポイントと大幅に下降して20.6%、“増加”は12.2ポイントと大幅に上昇して41.4%となる見通しとなった。
- 21-100人の23年度実績は、“減少”が2.1ポイント下降して23.4%、“増加”は4.2ポイント下降して60.1%となった。24年度見通しは、“減少”は下降して17.2%、“増加”も下降して51.7%となる見通しで、“増加”が“減少”を上回る状況が持続する見通しとなった。
- 101人以上の前年度実績では、顕著な持ち直しが見られたが、23年度は“減少”が1.4ポイント下降して20.8%、“増加”が13.4ポイントと大きく下降して45.8%となった。24年度見通しは、“減少”は上昇して25.0%、“増加”は下降して41.6%となる見通しで、“増加”が“減少”を上回る状況が持続する見通しとなった。

<規模別>

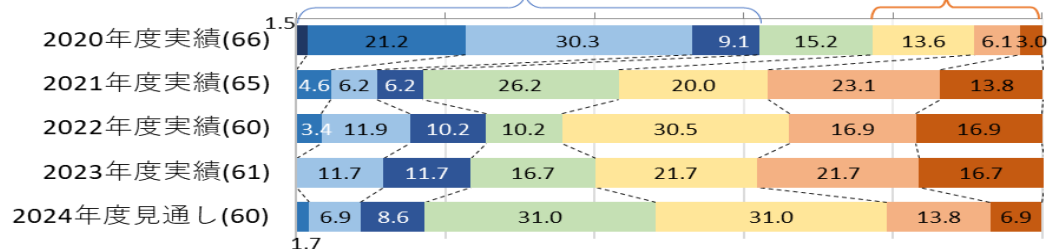
◇0-5人



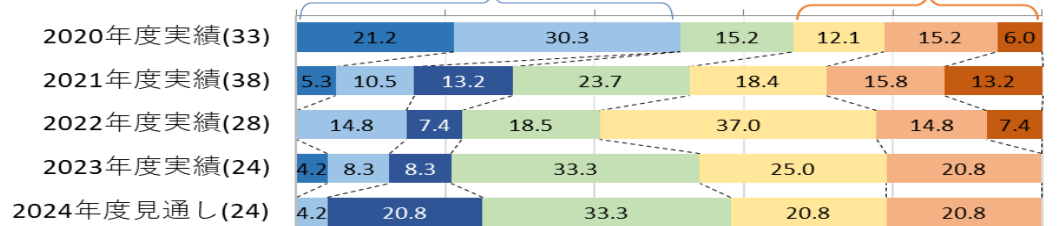
◇6-20人



◇21-100人



◇101人以上



■ 50%以上
■ 20%以上
■ 10%以上
■ 5%以上
■ ほぼ同水準
■ 5%以上
■ 10%以上
■ 20%以上

図J 2023年度決算の営業利益

《2023年度決算の営業利益》 図J

< 全体 >

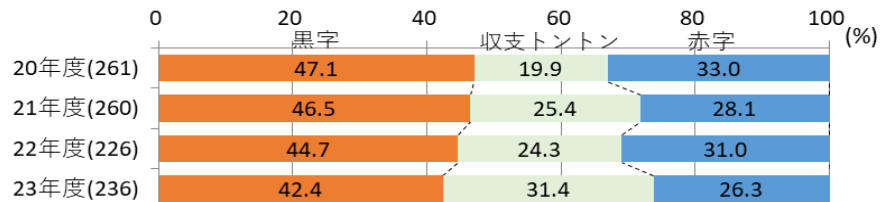
- 2023年度決算の「黒字」は下降して42.4%、「赤字」も下降して26.3%となった。
- 前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は3.2ポイント上昇して37.7%、「悪化」はやや上昇して29.7%となり、「改善」が「悪化」を上回る状況が持続している。

< 業種別 >

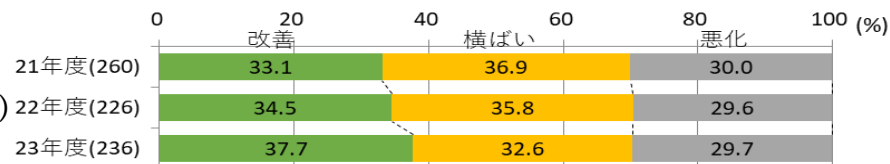
- 製造業では「黒字」はほぼ横ばいで47.4%、「赤字」はやや上昇して27.4%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は1.5ポイント上昇して44.2%、「悪化」は3.9ポイント下降して26.3%となった。
- 非製造業では「黒字」が3.3ポイント下降して39.0%、「赤字」が9.1ポイント下降して25.5%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は4.8ポイント上昇して33.3%、「悪化」は2.7ポイント上昇して31.9%となった。

< 全体 >

黒字 / 赤字



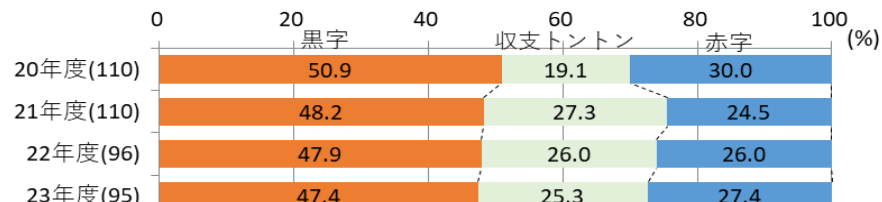
前年度と比較した
収益の水準 (改善 / 悪化)



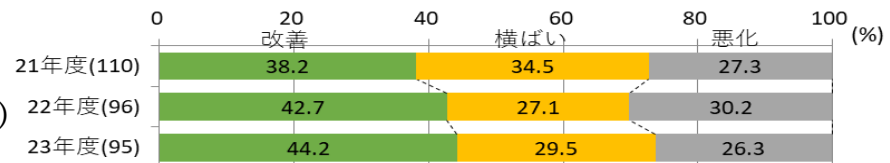
< 業種別 >

◇ 製造業

黒字 / 赤字

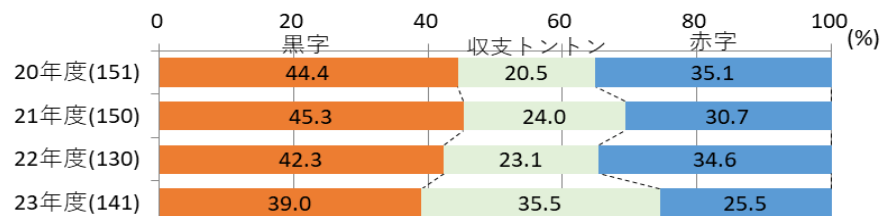


前年度と比較した
収益の水準 (改善 / 悪化)

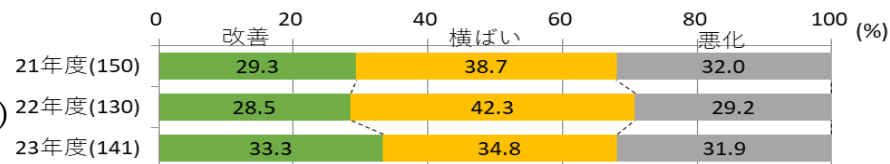


◇ 非製造業

黒字 / 赤字



前年度と比較した
収益の水準 (改善 / 悪化)



《2023年度決算の営業利益》 図K

< 規模別 >

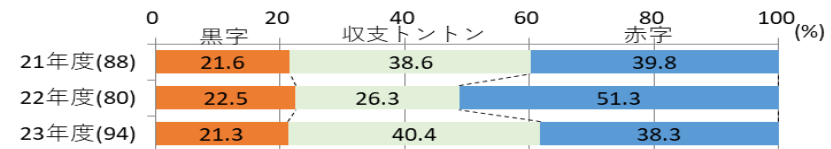
- 0-5人の23年度の「黒字」は1.2ポイント下降して21.3%、「赤字」が13.0ポイントと大幅に下降して38.3%となり、「赤字」が「黒字」を上回ったが、その差は縮小した。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は10.9ポイント上昇して30.9%、「悪化」は1.5ポイント上昇して34.0%となり、改善へと進んだ。
- 6-20人では「黒字」は6.9ポイント上昇して41.4%、「赤字」は3.4ポイント下降して25.9%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は1.8ポイント上昇して32.8%、「悪化」は1.7ポイント下降して32.8%となった。「悪化」が「改善」を上回る状況が続いていたが、同水準となった。
- 21-100人では「黒字」は71.7%と現状維持で、「赤字」は1.6ポイント下降して11.7%となり、さらに「黒字」が上回った。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は3.3ポイント下降して51.7%、「悪化」は5.0ポイント下降して18.3%となった。
- 101人以上では「黒字」は17.2ポイントと大幅に下降して54.2%、「赤字」は2.4ポイント上昇して16.7%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は2.4ポイント上昇して41.7%、「悪化」は8.3ポイント上昇して33.3%となった。

図K 2023年度決算の営業利益（続き）

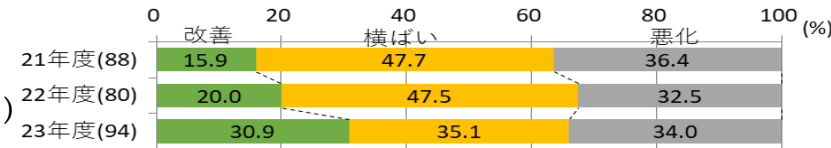
< 規模別 >

◇ 0-5人

黒字 / 赤字

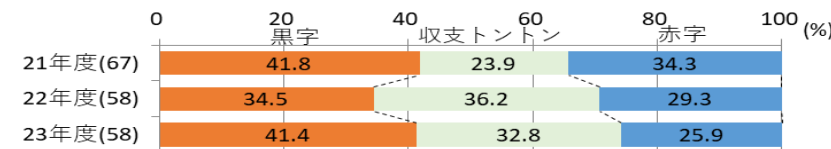


前年度と比較した収益の水準(改善/悪化)

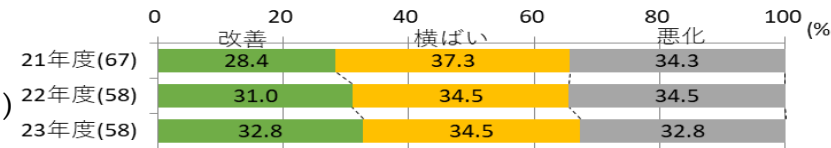


◇ 6-20人

黒字 / 赤字

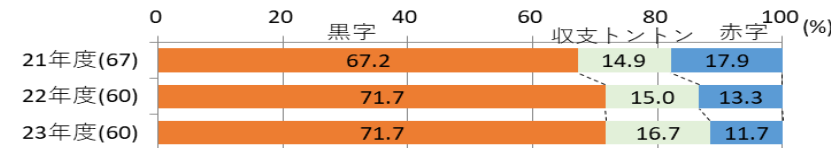


前年度と比較した収益の水準(改善/悪化)

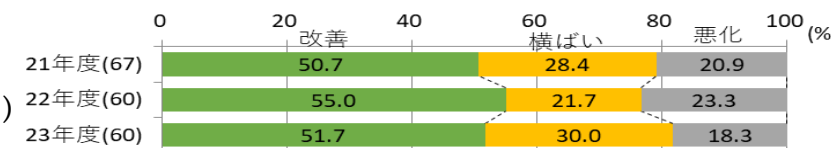


◇ 21-100人

黒字 / 赤字

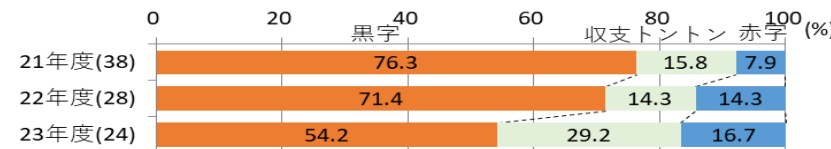


前年度と比較した収益の水準(改善/悪化)



◇ 101人以上

黒字 / 赤字



前年度と比較した収益の水準(改善/悪化)

